

上益城5町のごみ処理施設整備に向けた覚書を締結

御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町の上益城5町は、共同で建設予定だったごみ処理施設について、民間企業が整備・運営する計画を発表しました。5町は、大栄環境株式会社（大阪府）および有価物回収企業組合石坂グループ（熊本市）と施設整備の協議を開始する覚書を締結。蒲島郁夫知事の立ち合いの下、県庁で調印式が開催されました。



覚書の調印を交わした上益城5町と民間企業2社の代表らと立会人の蒲島知事

■ 民間資金を活用して財政負担を軽減

10月1日（金）県庁で、本町をはじめとする上益城5町は、一般廃棄物処理施設の整備・管理などを手掛ける大栄環境株式会社（金子文雄代表取締役社長）とリサイクル事業に取り組む石坂グループ（石坂孝光代表理事）の2社とごみ処理施設整備に関する協議を始める覚書を交わしました。

計画では、5町でつくる上益城広域連合が建設予定地を貸し付け、ごみ処理施設を整備する同社らに委託。施設では家庭から出る可燃ごみを引き受けつつ、民間から受け入れたごみのリサイクルや焼却・発電も行います。これにより、5町は施設建設に必要な財政負担が不要となる一方で、用地賃料による収入や施設の稼働に伴う新たな雇用が見込まれます。

■ 地域住民や環境に配慮

覚書では、地元の意見を踏まえてごみの搬入方法や環境に配慮した整備・運営、地域の雇用などを協議することを確認しました。協議が整えば基本協定を締結し、環境アセスメントなどの手続きに入る予定です。

■ 事業者提案を受けて方針を修正

5町ではこれまで、老朽化が進んでいる管内3カ所のごみ処理施設と2カ所のし尿処理施設の集約・更新のため、共同での建設を計画し、御船町上野の古閑原・古閑迫地区の用地取得を進めてきました。

しかし、熊本地震の災害復旧などで財政状況が厳しい中、県を通じて事業者から行われた提案を受けて、5町では方針を修正。今後、用地取得が完了した後に土地を造成し、企業側に貸し付けを行う予定です。

▼ お問い合わせ先

町環境衛生課

☎ 096・234・1169



▲新たなごみ処理施設の建設予定地（御船町上野地内）



▲白旗地内に完成したダイキュー協同組合熊本事業所の物流倉庫

九州の中心から事業展開を

ダイキュー運輸協同組合熊本事業所竣工式

■九州の中心地から物流を支える拠点が完成

9月28日（火）、本町白旗に新設されたダイキュー運輸協同組合熊本事業所（白旗1874番地）で竣工式が開催されました。

ダイキュー運輸協同組合（蒲池由行理事長）は、組合員13社とともに九州を中心とした全国各地に貨物運送事業を展開。熊本事業所は、九州各地への輸送リレー基地やドライバークの中間拠点などを目的に建設され、組合員のダイキュー甲佐運輸株式会社（上坂龍也代表取締役）とダイキュー運輸株式会社（馬場正昭代表取締役）が入居しています。同組合は、今年2月に本町と立地協定を締結しており、倉庫や事務所の建設が進められていました。

竣工式で同組合の蒲池理事長は「九州の中心地である熊本にできたこの熊本事業所を次なる一歩として、九州各地に事業展開していきたい」と



▲竣工式であいさつする蒲池理事長

あいさつ。奥名克美町長は「本町での事業開始にあたり、『ダイキュー甲佐運輸株式会社』が設立され、今後、九州を中心に本町の名前を掲げた車両が走ることをうれしく思う。本町の地方創生に貢献していただけのことには心強い。町としても、サポートしていきたい」と祝辞を述べました。

▼ダイキュー運輸協同組合
 ・本社 福岡県大刀洗町
 ・設立 平成11年
 ・資本金 2千600万円

▼お問い合わせ先
 町地域振興課

☎096・234・1154
 （内線236）